

弘前大学大学院保健学研究科保健学専攻

博士前期課程・博士後期課程

社会人のための

大学院入学案内



弘前大学大学院保健学研究科には保健医療の4つの専門領域があります。

- 共通科目では他領域の大学院生と一緒に受講しますので、多職種連携について考える機会となります。
 - 各領域で被ばく医療コース(博士前期課程・博士後期課程)の選択ができます。
- 詳細は下記URLを参照してください。

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/>

* 本コースは日本看護系大学協議会から放射線看護分野の高度実践看護師教育課程(専門看護師38単位)の認定を受けております。



HIROSAKI
UNIVERSITY

弘前大学大学院保健学研究科



GRADUATE SCHOOL
OF HEALTH SCIENCES

弘前大学大学院保健学研究所は下記のような社会人向けのシステムを採用しています。

1 社会人を対象とした出願方法があります。

社会人特別選抜出願資格

一般選抜の出願資格のいずれかに該当する者で、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において実務経験を有する者

2 大学や修士課程を卒業(修了)していなくてもそれと同等以上の学力を有すると認められれば受験できます。

※出願前に出願資格審査が必要。

個別の入学資格審査により、大学を卒業(大学院を修了)した者と同等以上の学力があると本研究所において認められた者で、入学年の3月31日までに所定の年齢に達する者

3 入学後も在職のまま修士・博士の学位を取得可能です。

昼夜開講制の導入(大学院設置基準14条)及び土・日、夏期集中講義により、社会人が働きながら学べるシステムがあります。

4 遠方でも遠隔授業で受けられます。

遠隔地に居住しているなどの理由により、キャンパスに來れない学生を対象に、Web会議システムを利用した双方向通信方式による遠隔授業を実施しています。



5 一部の講義でe-learningを取り入れております。

e-learningにより、一部の講義は受講者の都合の合う時間に自宅等で受講することができます。



6 修業年限短縮制度があります。(博士後期課程)

在学中に優れた業績をあげた者については、修業年限を2年または2.5年に短縮することができます。

7 業務等の自分のペースに合わせて修業年限を延長できます。(長期履修学生制度)

職業を有している等の事情により、標準修業年限(前期課程2年、後期課程3年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができます。(前期課程3年~4年、後期課程4~6年) 長期履修制度を利用しても、在学中に支払う授業料は変わらず、許可された長期履修期間(3年~6年)で除した金額となります。

例) 博士前期課程長期履修4年の場合

$$1 \text{ 年間の授業料 (535,800円)} \times \text{標準修業年限 (2年)} \div \text{長期履修期間 (4年)} \\ = \text{長期履修者の1年間の授業料 (267,900円)}$$

看護学領域

博士前期課程

伊藤 洋介

(平成28年度修了)

秋田県で看護大学の教員をしております。臨床を6年経験し、看護教員になりたい、という思いから、弘前大学大学院に入学させていただきました。在学中は、現在の職場で助手として勤務しながら1時間かけての通学でした。遠隔授業のシステムを活用しながら、通学への負担を減らし学ぶことができました。今後、学生へ指導をしていく上でも、働きながら学ぶことの素晴らしさを伝えていけたら、と感じております。

生体検査科学領域

(旧：生体機能科学領域)

博士前期課程

中山 友乃

(平成28年度修了)

岩手県で栄養教諭をしております。私は培養細胞を用いて、ヒアルロン酸の合成調節のメカニズムについて研究しました。大学(栄養学科)の勉強だけでは病理の知識が不足していると感じて進学した大学院では、自分の意欲に応じて最高のサポートをしていただき、また、異なる職種の仲間たちと意見を交換すること等で視野が広がったと思います。自分の意見を伝えることの大切さやコミュニケーション能力を培うことができたのも大学院進学のお陰だと強く思います。

生体検査科学領域

(旧：生体機能科学領域)

博士前期課程

工藤 海

(平成29年度修了予定)

学部を卒業し、大学病院病理部に検査技師として就職すると同時に大学院へ進学した私は、夜や休日、有給や長期履修等を利用し、コンドロイチン硫酸の腸管上皮細胞への作用について、培養細胞を用いた実験をしてきました。細胞診資格取得の勉強もあり極めて多忙でしたが、資格や職業上のスキルだけでなく研究を通して多くのスキルが得られ、この三年間は、将来研究・教育関係の進路を考えている私にとって大きな財産になりました。

放射線技術科学

領域

博士前期課程

吉田 司

(平成29年度修了予定)

私は現在、静岡県で診療放射線技師として勤務をする傍ら、博士前期課程放射線技術科学領域で研究をさせていただいております。進学した理由は、日常業務で生じた疑問を解決するための研究方法論を学ぶためです。また、静岡県からでも遠隔システムで受講が可能であり、こちらも進学を決めた理由です。社会人で研究をしたい方にとっては最適の環境だと思います。是非ここで一緒に研究をしましょう。

放射線看護 高度看護実践コース

博士前期課程

佐藤 裕美子

(平成28年度修了)

私は放射線科外来・放射線治療室でがん放射線療法看護認定看護師として勤務しています。講義は基本18時以降だったので、勤務が終了してから受けることができ、出張の際もパソコンを使用し遠隔で講義を受けることができました。また、大学院に行かなければ出会えなかった人達と出会い、様々な話を聞くなど貴重な経験をすることができました。働きながら学ぶことで、大学院で得た知識をすぐ職場で活かすことができ良かったです。

総合リハビリテーション科学 領域

(旧：健康支援科学領域)

博士後期課程

村上 正和

(平成29年度修了予定)

函館市にある西堀病院のリハビリテーション課に所属している村上です。私は臨床経験6年目で入学しました。元々大学院に興味はありましたが、遠方のため通学出来ず断念していました。そんな時に遠隔授業の情報を入手し受験に踏み切りました。実際に入学すると、職場からでも受講することが出来、大変便利でした。現在は、同僚の学会発表に協力するなど、大学院での経験を生かして仕事の幅をどんどん広げることが出来ています。

博士前期課程履修方法(被ばく医療コース、放射線看護高度看護実践コースを除く)

- 保健学共通コア科目 8単位
- 所属する領域の必修科目(特論、演習及び特別研究) 14単位
- 各領域の専門科目から8単位以上(看護学領域については、各領域の専門科目及び放射線看護高度看護実践コースの共通科目のうち指定された科目から8単位以上)

博士後期課程履修方法(被ばく医療コースを除く)

- 共通科目 2単位
- 所属する領域の必修科目(特講、特講演習及び特別研究) 10単位

経済支援制度

大学院生の経済的支援として、納付困難者に対する入学金・授業料の免除・徴収猶予制度、大学院振興基金による授業料免除、日本学生支援機構奨学金制度があります。

大学院入試日程

大学院の入試は年2回(8月下旬、翌年1月中旬)実施しております。募集定員は博士前期課程30名、博士後期課程12名となります。

募集要項等の資料請求は、氏名、志望領域、連絡先を明記した文書、返信用封筒(角2号、250円切手貼付)を同封の上、「大学院博士前期(後期)課程募集要項請求」と朱書きした封筒を下記問い合わせ先へ郵送するか、来学して窓口で請求してください。

※出願に際しては、志望する領域の担当教員に教育研究内容等について必ず問い合わせのうえ、出願して下さい。各領域担当教員の教育研究内容については、募集要項を参照してください。

- 弘前大学保健学研究科 入試情報

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/entrance.html>



問い合わせ先

〒036-8564

青森県弘前市本町66-1

弘前大学保健学研究科学務グループ

TEL : 0172-39-5911

FAX : 0172-39-5912

Mail : jm5911@hirosaki-u.ac.jp

HP : <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/>